

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前第2四半期	19/3期 当第2四半期
売上高	8,263	9,333
営業利益	1,003	777
経常利益	1,008	754
親会社株主に帰属する四半期純利益	674	508

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前期末	19/3期 当第2四半期末
流動資産	6,732	6,653
固定資産	1,842	2,769
資産合計	8,575	9,423
流動負債	3,929	3,708
固定負債	1,075	1,177
負債合計	5,005	4,886
株主資本	3,340	3,836
資本金	300	300
資本剰余金	331	366
利益剰余金	5,113	5,480
自己株式	△2,405	△2,311
その他の包括利益累計額	28	495
新株予約権	—	13
非支配株主持分	200	191
純資産合計	3,570	4,536
負債・純資産合計	8,575	9,423

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	18/3期 前第2四半期	19/3期 当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	858	315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332	△449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	361	△171
現金及び現金同等物の期首残高	3,344	3,894
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	9
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,706	3,732



会社概要

社 名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	2013年10月1日
資 本 金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3676)
グループ会社 (※は関連会社)	株式会社デジタルハーツ 株式会社エイネット DIGITAL HEARTS USA Inc. DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. DIGITAL HEARTS GNT VIET NAM COMPANY LIMITED Aetas株式会社 株式会社フレイムハーツ 株式会社デジタルハーツネットワークス * 株式会社ZEG
従業員数(連結)	791名(2018年9月30日現在)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 T E L 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュースなど、さまざまな情報を公開しています。

▶ <https://www.digitalhearts-hd.com/>



株主通信

2019年3月期

第2四半期連結累計期間 2018.4.1 ▶ 2018.9.30



デジタルハーツ ホールディングス

証券コード：3676



2017年6月に代表取締役に就任して以降、「第二創業期」として、主力事業であるエンターテインメント事業のさらなる成長を追求するとともに、これまでゲームのデバッグで培ってきたノウハウを活かし、エンタープライズ領域における事業を一気に拡大すべく、様々な取り組みを推進して参りました。あらゆるものがインターネットにつながる“IoT”の進展など、デジタル化が急速に進んでいる現代において、目の前に広がってい

る多くのビジネスチャンスを実に掴むためには、やはり「人材×技術」が最も重要だと考えています。

既存ビジネスの業務効率化や従来にないサービス開発など付加価値向上のため、新しい技術を積極的に取り入れる必要がある一方、どれだけ人工知能の活用や自動化が進んだとしても、それをコントロールする人材は絶対に必要です。当社グループには、“ゲームが好き”という理由で仲間になってくれたテスター

が今では8,000名ほどおり、彼らはゲームだけではなく、このデジタルの領域で活躍できる非常に高いポテンシャルがあるということ、この1年目の当たりになってきました。彼らの潜在的な能力をきちんと育てるためのOJTや教育プログラム等の体制強化を進めるとともに、システムテストやセキュリティといった彼らが活躍できる新たなフィールドを開拓する。この2つが実現できれば、当社グループは非常に強い企業になれると確信しています。

実際、当期の上期には、ソフトウェアテスト技術者資格の取得に向けた社内支援プログラムを実施したり、テストエンジニアの育成に強いバルテス株式会社との業務提携を通じた研修制度の充実化等を図って参りました。また、先端技術を活用した新サービスを開発する専門チームを立ち上げたり、米国セキュリティベンチャー企業との協業によりセキュリティ事業に本格参入するなど、様々な新しい取り組みも開始しています。

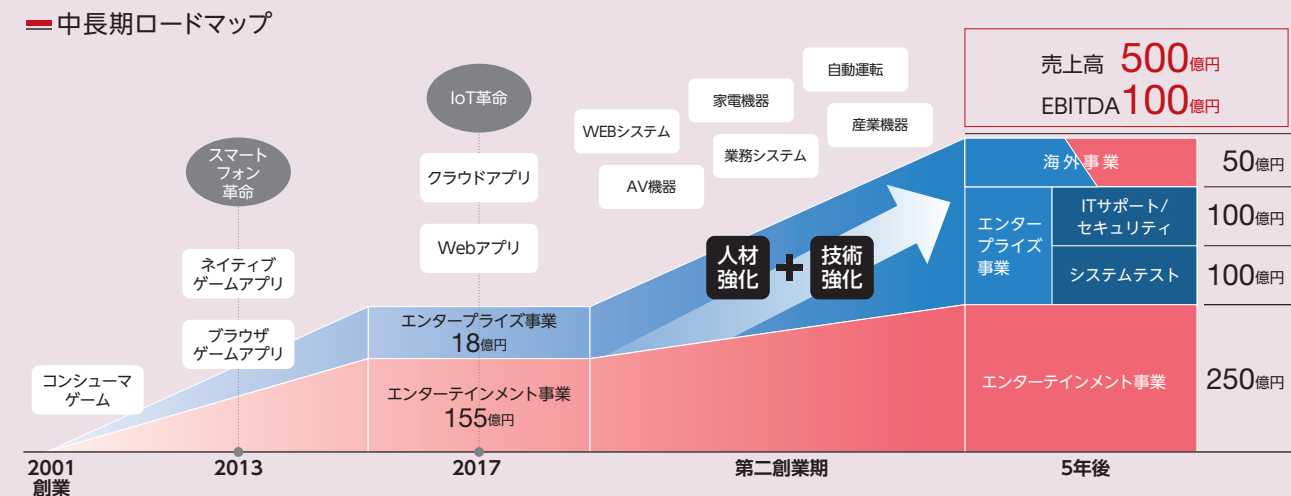
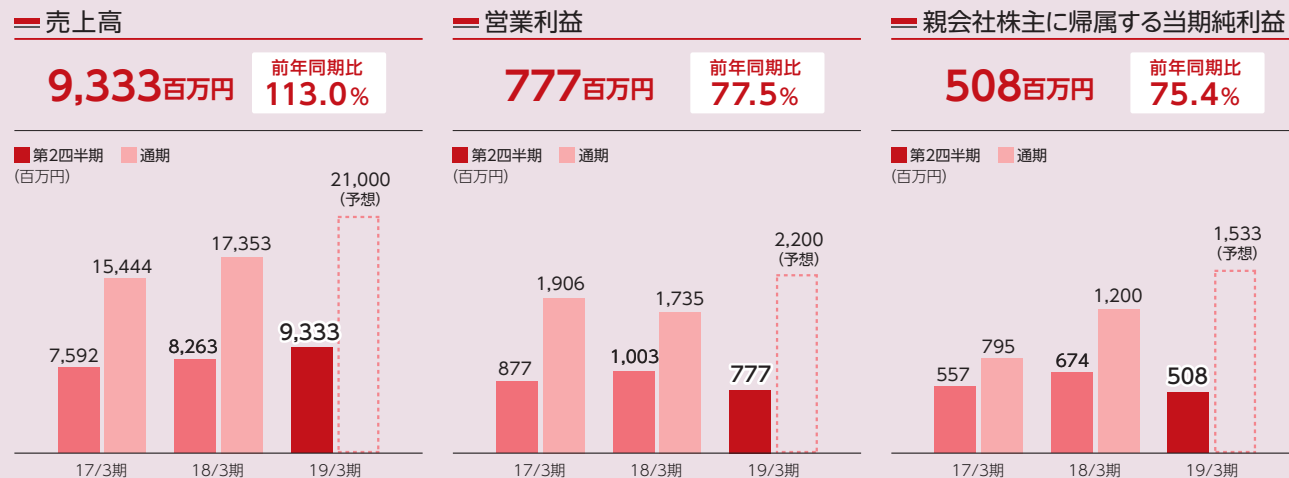
その結果、当期上期の売上高は、注力事業であるエンタープライズ事業が前年同期比約2倍の成長を遂げるとともに、主力事業のエンターテインメント事業も安定的な成長を実現し、上

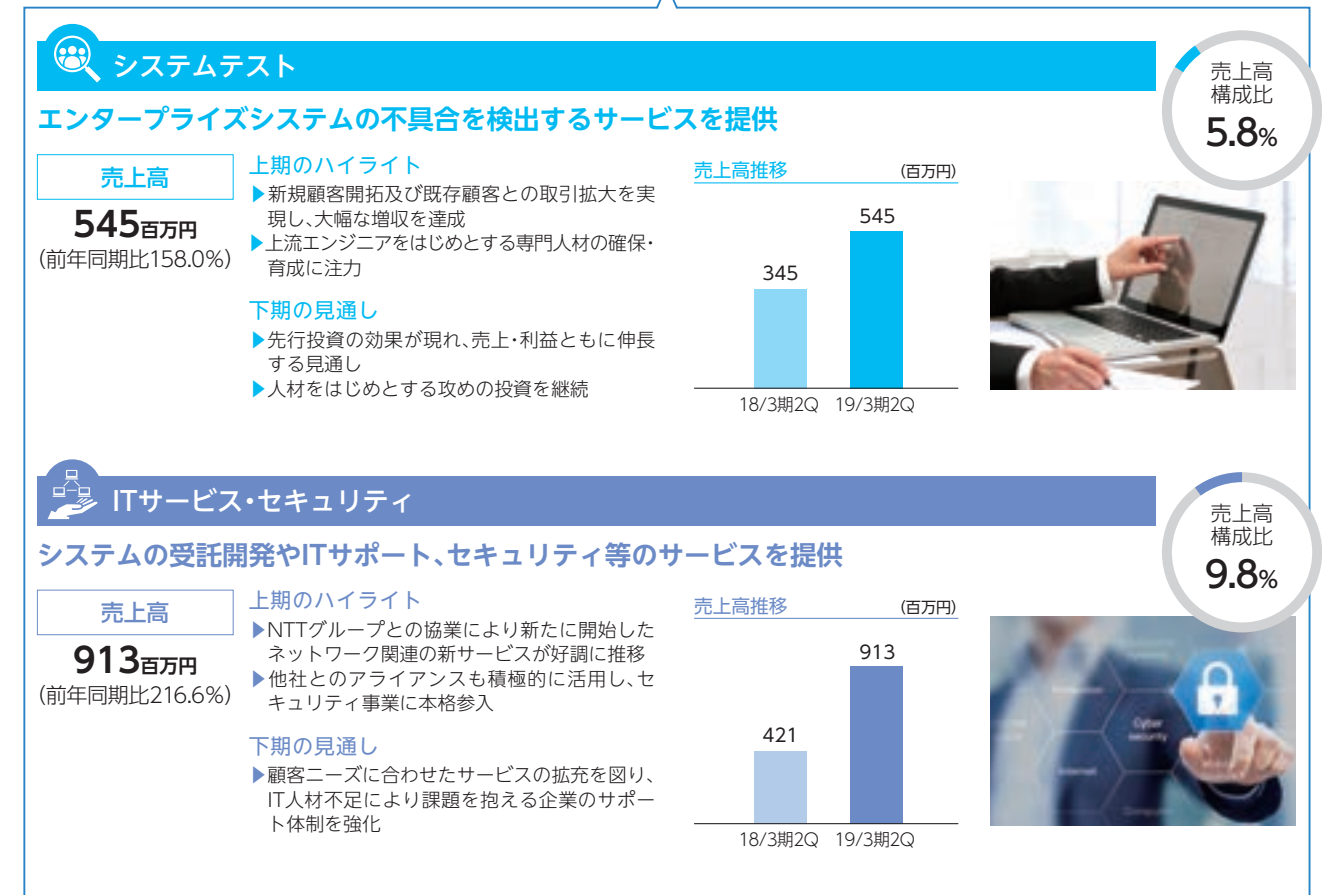
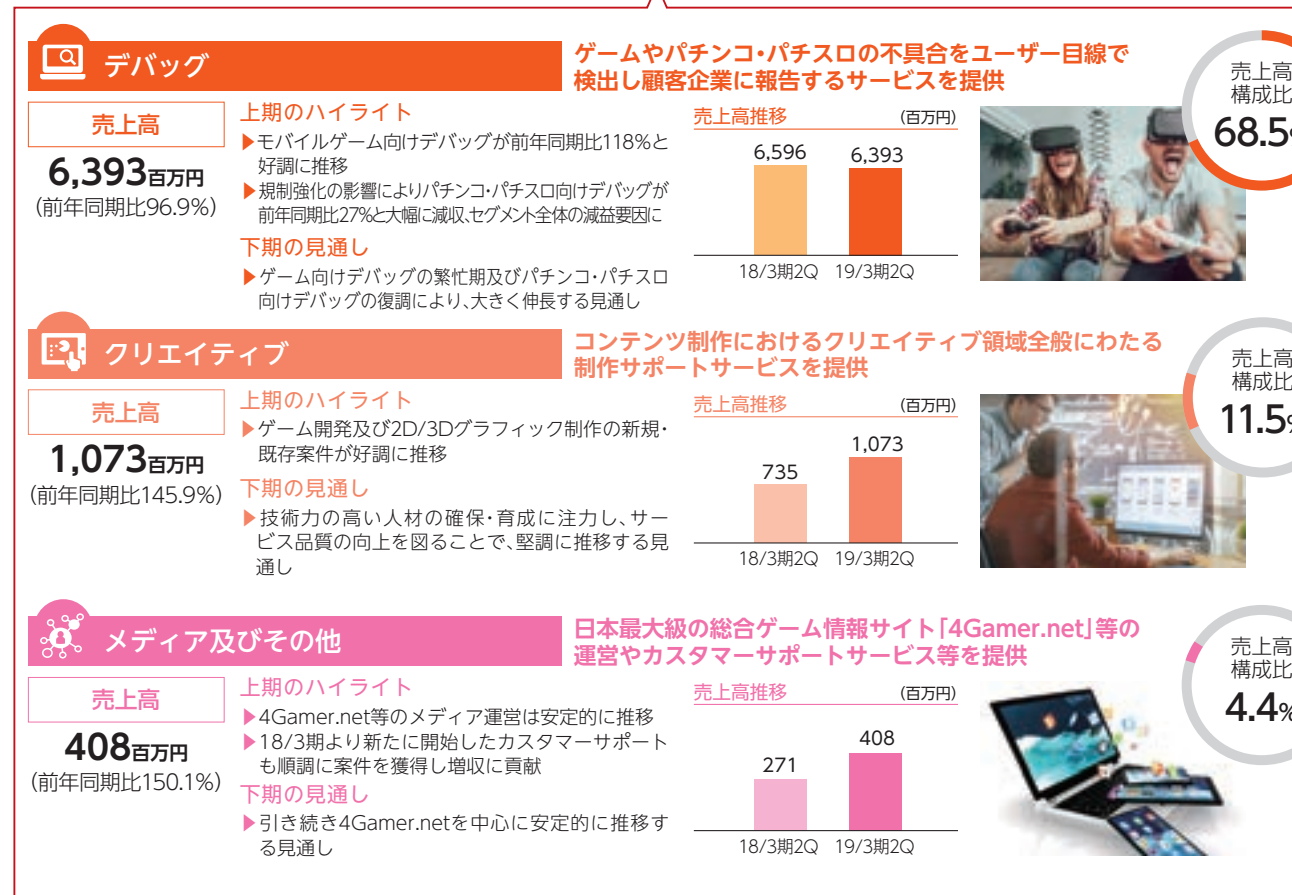
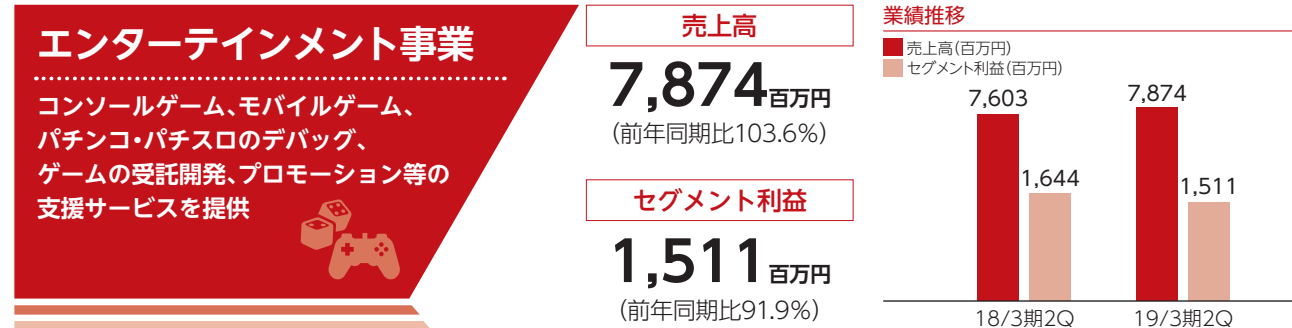
期としては過去最高の9,333百万円(前年同期比113.0%)を達成いたしました。営業利益は、先行投資の影響で人件費をはじめとする販管費が大幅に増加したこともあり、777百万円(前年同期比77.5%)となりましたが、概ね会社計画通りに進捗しています。

下期においては、これまで実施してきた先行投資の効果が現れ、エンタープライズ事業が引き続き高い成長を継続するとともに、エンターテインメント事業においても、ゲーム向けデバッグが繁忙期に入ることや、上期まで低調に推移していたパチンコ・パチスロ向けデバッグの復調等が見込まれることから、売上・利益ともに大きく伸長し、通期では過去最高の売上高・営業利益になると見込んでおります。

今後も、「人材×技術」をベースとしながら、引き続き積極的に新しい挑戦を続け、「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」を目指して参ります。

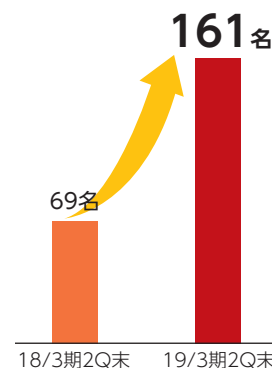
株主の皆様におかれましては、是非、今後の当社グループにご期待いただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





上流エンジニア数 前年同期比2倍以上へ

新規採用・人材育成・M&Aにより、
システムテストのサービス品質の要となる上流エンジニアを増強。



新規採用

- GNTグループと協業し、ベトナムにテスト専門会社を設立

人材育成

- テストエンジニアの教育に強みをもつバルテス(株)と業務提携を締結

M&A 等

- (株)キープアヘッドからシステム開発事業を譲受
- 医療系システムのテストに強い(株)エイネットを子会社化

JSTQB認定資格保有者 業界トップレベルへ

日本における
ソフトウェアテスト技術者資格であるJSTQB。
資格取得に向けた社内支援プログラムを実施し、
多数のテスターが合格。
国内最大規模の認定資格保有者数へ。

JSTQB認定資格保有者

2018/10/31現在(当社グループ合計)

Advanced Level
(高度技術者向け)

8名

Foundation Level
(基礎技術者向け)

325名

セキュリティ ブートキャンプを初開催

日本屈指の
サイバーセキュリティコンサルタントを
講師として招き、2週間の実践的研修を実施。
全国各地のテスターの中から20名が参加し、
すでに複数名がセキュリティ部門でOJTを開始。



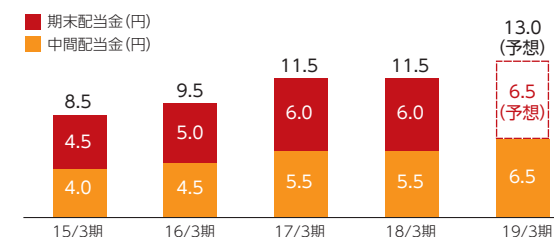
Dividends & Shareholder Returns 株主還元

安定的な配当を継続

当社は、株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置づけ、連結業績等を総合的に勘案しながら配当を実施いたします。

当期の中間配当金につきましては、期初予想通り6.5円とし、期末配当金は6.5円を予想しております。これにより年間配当金は13.0円と前期より1.5円の増配を予定しております。

配当金の推移



※2016年10月1日を効力発生日として1:2の分割を実施。
そのため17/3期中間配当以前の配当状況はこれらの分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の金額を記載しております。

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された
1単元(100株)以上保有の株主様を対象として
おります。

保有株式数	株主優待品
1単元(100株)以上2単元(200株)未満	おこめギフト券(3Kg分)
2単元(200株)以上	おこめギフト券(6Kg分)



Stock Information 株式の状況(2018年9月30日現在)

株式の状況

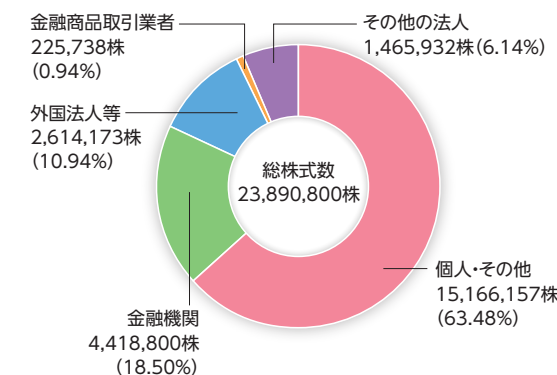
発行可能株式総数	76,800,000株
発行済株式の総数	23,890,800株
株主数	8,599名

■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤栄一	7,037,189	32.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,842,000	17.56
A-1合同会社	1,278,200	5.84
A&G共創投資第1号投資事業有限責任組合	1,095,983	5.01
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	700,000	3.20

(注) 1. 当社は、自己株式2,016,206株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式2,016,206株(8.44%)を含んでおります。